事業番号　0275

平成２３年行政事業レビューシート　（文部科学省）

事業名	地球圏・生物圏国際協同研究計画（IGBP）	担当部局庁	研究開発局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成２年度～平成２２年度	担当課室	環境エネルギー課	環境エネルギー課長 田口　康
会計区分	一般会計	施策名	Ｘ－３　環境・海洋分野の研究開発の重点的推進	
根拠法令（具体的な条項も記載）	-	関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画（平成18年閣議決定） 日本学術会議勧告（第109回総会、平成2年）、（第130回総会、平成11年）	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	国際共同研究への分担金拠出等についての日本学術会議の勧告（平成2年第109回総会、平成11年第130回総会）を踏まえ、地球システムを制御する物理的、化学的、生物的相互作用の諸過程の研究を通じて地球システムの解明を図る国際協同研究計画を推進すること。
事業概要（5行程度以内。別添可）	各国政府等からの拠出金により、地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)事務局が、各国の研究者の参加を得て、研究内容や国際協力の調整等を行いながら、国際協同研究計画を進めている。研究計画には、8つのコアプロジェクト（地球大気化学国際共同研究、全地球海洋フラックス合同研究、地球変化と陸域生態系合同研究、海洋・大気間物質相互作用、沿岸域における陸域-海域相互作用、土地利用・被覆変化研究、全球海洋生態系動態研究、古環境の変遷研究）があり、世界中の研究機関、関連研究者が連携を取りながら研究活動を行っている。
実施方法	■直接実施　□業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	11	10	9		
	補正予算	0	0	0		
	繰越し等	0	0	0		
	計	11	10	9		
執行額		11	10	9		
執行率（%）		100.0%	100.0%	100.0%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（　年度）
定量的な成果目標の設定は困難（IGBPへの拠出金の支払であるため）	成果実績	—	—	—	—	—
	達成度	%	—	—	—	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
定量的な活動指標の設定は困難（IGBPへの拠出金の支払であるため）	活動実績（当初見込み）	—	—	—	— （　—	— —

単位当たりコスト	単位あたりコストの算出は困難（IBGPへの拠出金であるため）（円／　　　　　）	算出根拠	—

平成23・24年度予算内訳

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
			※平成22年度限りの経費
計			

事業所管部局による点検

	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	

点検結果

拠出金額については、国際連合の分担金の基準（過去10年間の国民所得平均値）に基づき算出されることになっており、我が国の財政状況を踏まえた上で、約10万米ドルを拠出している。またIGBP事務局に対しては、スウェーデン王立科学アカデミーが会計検査を行っており、適切な会計の執行が行われていることを確認している。
IGBPの研究の成果は、2007年のノーベル平和賞を受賞した「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第4次評価報告書に数多く反映される等、世界の環境政策決定に科学的基礎を与えるという、重要な役割を担っており、我が国の継続的関与が必要である。
また、これまでの事業の成果を適切に検証するとともに、他国の拠出の動向も踏まえつつ、予算を縮減した。
尚、平成23年度事業においては、平成22年度予算において1千万円未満の小規模事業となったことから、他の関連事業とともに「環境分野の研究開発の推進」へ統合し、その際に予算の削減を行った。

予算監視・効率化チームの所見

—	平成２１年度レビューの指摘を踏まえ、平成２２年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

—

補記 （過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

—

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	文部科学省 9百万円 （**地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)の運営経費**） ↓ **拠出金** ［A］地球圏・生物圏国際協同研究 計画（IGBP)事務局

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
地球圏・生物圏国際協同研究計画拠出金	地球圏・生物圏国際協同研究計画（IGBP）事務局の活動に資する経費	9
計		9

B.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	地球圏・生物圏国際協同研究計画（IGBP)事務局	地球圏・生物圏国際協同研究計画（IGBP)の運営	9	―	―

※入札者数及び落札率は拠出金のため「－」としている。